

記者発表資料  
 平成23年7月21日  
 担当：畜産課 伊藤，及川  
 内線2852  
 食と暮らしの安全推進課 金野，大槻  
 内線2644

## 放射性物質が検出された稲わらを給与した肉牛について

### 1 検査結果等について

現在、原発事故後に収集された稲わらの放射性物質の検査を東北大学の協力により行っております。今回、14件の検査が終了したので、その結果をお知らせします。

また、県内の肥育農家（848戸）に聞き取り調査を行ない、原発事故後に収集された稲わらが67戸の農家で給与されていたことが確認されました。

稲わらを給与していた肥育農家から、残っていた稲わらを採取し、13件の検査が終了。10戸の農家からすでに100頭の肉牛が出荷されたことが明らかになりました。

### 稲わらの検査結果と各農場からの出荷状況

	農家	ほ場所 在	検査結果(補正值) ベクレル/kg		給与したと思われる 肥育牛の出荷頭数	出荷先*
1	A	大郷町	1,789 (408)	繁殖農家	—	—
2	B	石巻市	1,561 (356)	肥育農家	40	東22, 仙18
3	C	白石市	ND	〃		
4	D	蔵王町	9,441 (2,151)	〃	15	東13, 仙2
5	E	栗原市	1,486 (338)	〃	2	東2
6	F	栗原市	4,650 (1,059)	〃	11	東10, 仙1
7	G	栗原市	4,226 (963)	〃	5	東5
8	H	栗原市	2,184 (497)	〃	4	東4
9	I	栗原市	3,825 (871)	〃	4	東3, 仙1
10	J	栗原市	13,676 (3,115)	〃	3	東3
11	K	栗原市	25,952 (5,912)	〃	11	東9, 仙2
12	L	栗原市	8,038 (1,831)	〃	まだ出荷していない	
13	M	栗原市	2,738 (624)	〃	5	東5
14	N	栗原市	4,914 (1,119)	〃	まだ出荷していない	
				計	100	東76, 仙24

注) 東：東京食肉市場(株)，仙：仙台市中央食肉卸売市場

ND：不検出

### 2 今後の対応について

県では、当該農場について、当面、肉牛の出荷自粛を引き続き要請するとともに、当該稲わらの給与禁止を指導しました。

また、当該牛が出荷されたらと畜場及びその頭数について、厚生労働省及び関係する自治体に情報提供し、流通状況の確認を依頼します。

併せて、当該牛肉の残品があれば、放射性物質の検査についても厚生労働省及び当該自治体に依頼し、検査の結果、放射性セシウムの暫定規制値を超えた食肉については関係自治体より各事業者に対して自主回収等の指示をしていただくよう依頼します。

### ■参考

国の定める暫定規制値（放射性セシウム濃度500Bq/kg）の2倍の放射性セシウム（1000 Bq/kg）を用いて計算すると、1kgの牛肉を食べた場合の人体への影響の大きさは0.013mSvとなります。

国際放射線防護委員会が示す食品全体の年間被曝許容量は5 mSvであり、当該牛肉1kgを一年間食べ続けてもこの値を超えることはありません。

事故後稲わらを給与した農家

給与した牛の出荷を自粛  
事故後稲わら在庫の  
放射性物質測定

稲わらが  
暫定許容値(放射性セシウム  
300 Bq/kg)  
を超過した農家

稲わらが  
暫定許容値以下の農家

調査終了

出荷牛肉の  
流通状況調査

牛肉の在庫あり

牛肉の在庫なし

調査終了

牛肉の  
放射性物質測定

牛肉が  
暫定規制値(放射性セシウム  
500 Bq/kg)を超過

牛肉が  
暫定規制値以下

調査終了

当該牛由来牛肉の  
自主回収